

Mihonoseki 伝建だより

TOPIC

・第2回美保関まちなみ塾を
開催!!

・美保関住民の皆様と
岡山県津山市へ

・お知らせ

Vol.5

2024.6

※「Mihonoseki 伝建だより」…松江市では、美保関町美保関にて伝統的建造物群保存地区制度、通称「伝建」の導入を検討しています。制度の内容や市の取り組みについてお伝えします。

第2回 美保関まちなみ塾 ～美保関の祭祀と當屋組織～ 開催!!



日時：令和6年6月9日（日）14:00～16:00

会場：美保関文化交流館

参加者数：約47名

講師：横山 直正 氏（美保神社 権禰宜）

福間 治 氏（美保神社 氏子）

西垣 佑一郎 氏（美保神社 氏子）

主な内容：

- ・青柴垣神事（4月7日） 諸手船神事（12月3日）両方の神事ともまちなみを舞台として「國譲り神話」を再現。
- ・神話を再現する神話劇としての要素がある。広義での神楽。
- ・他地域の神楽との共通点として祓解。岡山や九州では白蓋。
→ 舞台を清めて神様をお迎えするという点で共通性がある。
- ・稲作、農業の儀礼としての側面。
- ・明治以前の人々の経済や文化の根幹に稲作があった。
- ・青柴垣神事→旧暦3月（豊作祈願）諸手船神事→旧暦11月（収穫への感謝）
- ・稲作との関わり（オハケ。宵祭のお供え。八百穂祭－諸手船神事の別称）
- ・氏子の通過儀礼としての祭祀・當屋制度。
- ・美保関、美保神社における氏子の役割。
- ・頭人は1年間かけてまちの人のため、すべての人のために祈る。
- ・まちの人が尊敬の念を込めて頭人の仕事を見守ってくれる。町全体で頭人を精神的にも作り上げる。



第3回 美保関まちなみ塾

（テーマ）美保関のまちなみと建造物の特徴

日時 令和6年7月21日（日） 講師

14:00～16:00

・大林 潤 氏（奈良文化財研究所 上席研究員）

場所 美保関文化交流館 2階

参加無料・要申込

申し込み先

松江市文化スポーツ部文化財課

歴史まちづくり係

電話（0852）55-5956

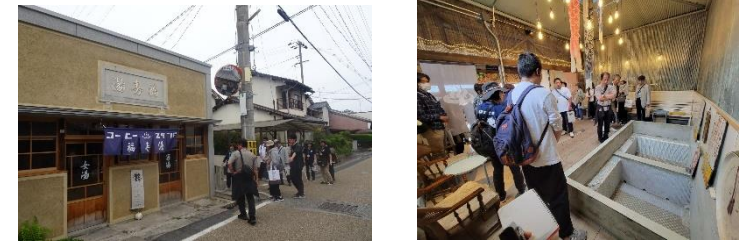
申し込みQRコード



美保関住民の皆様と岡山市津山市へ

6月6日(木) 岡山市津山市にある重要伝統的建造物群保存地区 津山市城東・津山市城西に視察に伺いました。
岡山市津山市には2つの伝建地区があり、選定までの経緯、建物の修理事例、建物の活用事例、防災設備のことなど、津山市役所の方からお話を聞きました。午後からは、伝建地区のまち歩きを行い、津山市城西地区に住む住民の皆様と意見交換会をしました。

○修理・修景事例及び活用について



旧銭湯を活用したコーヒーショップ
…建築当時の古写真をもとに外観を復元。内部も浴槽をそのまま活用。

○10年間のまちなみの変化(城東地区)



〈2015年〉 — 修理54棟・修景10棟 —> 〈2024年〉

○防災設備について



連動式火災報知機…1件で警報が鳴ると、両隣や正面の家でも連動して警報が鳴る。火災の早期発見、初期消火につながる。3~4戸のグループを作り、設置を進めている。



まちかど消火栓ハリヤー…各家庭の散水栓に取り付けて使用できるホースが入っている。リュックの中に入っているため軽く、持ち運べる。簡易消火設備。(城東地区内に5か所設置)



📣 おしらせ

👤 住民説明会 開催 申込不要

日時:①令和6年8月13日(火)15:00~
②令和6年8月13日(火)18:00~
③令和6年8月19日(月)18:00~

場所:美保関文化交流館 2階大会議室
内容:伝統的建造物群保存地区保存条例の制定及び、まちなみを守るためのルールについて説明します。

📷 まちなみの古写真を探しています

昭和50年代までの美保関のまちなみの写真を集めています。写真は今後、まちなみを保存するための貴重な資料になります。お持ちの方がいらっしゃいましたら、文化財課までご連絡ください。写真は複写した後に返却します。

■問い合わせ先
〒690-8540 島根県松江市末次町86番地
松江市文化スポーツ部 文化財課
歴史まちづくり係 電話(0852)55-5956